



鳥取ユネスコ協会

とっとり ユネスコ

Vol.56

May.31'17

鳥取ユネスコ協会 〒680-0841 鳥取市吉方温泉3丁目701 鳥取市文化センター内 tel/fax 0857-24-5009
メールアドレス:tottori@unesco.or.jp ホームページ:http://www.unesco.or.jp/tottori/contents/sec11:htm

2016年度 事業報告

1	2016年度定期総会	2016年4月17日(日) 於: 鳥取フシントンホテルプラザ チャイナテーブル
2	理事会(お話し)	7回開催 5/19 6/9 8/20 10/6 12/15 2017.1/26(兼新年会) 3/30
3	全国大会	2016年6月25日~26日 於: 沖縄県那覇市 遠距離につき参加せず
4	中国ブロック大会	2016年12月10日~11日 於: 島根県大田市 参加者: 島田政徳、中村忠文
5	県ユネスコ協議会	2016年8月25日総会開催 於: 倉吉セントパレスホテル
6	こども英語教室	毎週月曜日開校 於: 鳥取市文化センター2階 生徒数19名
7	学校訪問	協力校: 鹿野中学校、国府東、大正、末恒小学校、ユネスコスクール: 岩美南、岩美北、岩美西小学校に訪問 コアアクション・書きそんじハガキキャンペーンの協力要請 感謝状贈呈
8	書きそんじハガキキャンペーン	2016年度分574枚33,920円の切手に変えてユネスコ協会連盟へ送付
9	コアアクション	7/14(木) 参加者 学校生徒17名 先生5名 会員10名 募金額43,292円
10	砂丘清掃	9/25(日) 4名参加
11	環境談話会	2/18 テーマ『木材の利用と住まいの環境との関わり』 講師 藤本高明 鳥取大学教授
12	講演会	10/22(土) 講師 花川治彦(鳥取市福祉相談センター所長) 演題 『今、子供たちが危ない』 来場者30名
13	文化の旅	11/10(木) 岡山「旧閑谷学校・吉備津彦神社・備中国分寺」 参加者21名(会員3名 一般18名)
14	会報発行	鳥取ユネスコ協会報 Vol.56 2017年3月31日発行

「ユネスコ世界寺子屋運動」



**書きそんじ
ハガキ
キャンペーン**

11枚の書きそんじハガキで、カンボジアではひとりごと月学校に通えます。

今年度は協力校の鹿野中学校、国府東、大正、末恒小学校、ユネスコスクールの岩美南、岩美北、岩美西小学校の皆さんにもご協力いただき、33,920円を日本ユネスコに送りました。

2016年度会計報告(抜粋)

収入の部

会費・入会金	280,000
活動事業	
募金	31,940
寄付金	50,000
基本金運用	460,000
雑収入	3,833
繰入金	
繰越金	49,145
合 計	836,978

支出の部

活動・事業費	12,238
分担金	68,000
消耗品	67,117
募金支出	31,940
管理費	101,309
人件費	293,533
慶弔費等	15,000
合 計	557,197



ご挨拶

鳥取ユネスコ協会 会長 島田 政 徳

『鳥取ユネスコ協会』は1975年（昭和50年）8月9日に設立されて以来40年以上に渡り、会員の皆様がユネスコ精神をよく理解されて、数多くの事業活動を展開し、地域に根付いた教育、科学、文化などの活動に精を出され、そして継承して今日があります。

国連ユネスコ憲章前文の中に、「戦争は人の心の中で生まれるものだから、人の心に平和のとりでを築かなければならない」とあります。ユネスコとは憲章に記された高い理想をかかげ、「教育」「科学」「文化」「コミュニケーション」を通じて、国際平和と福祉を促進することを

目的とした国際連合の機関です。そこで私たちの「民間ユネスコ活動」はユネスコ精神に賛同しその理念を社会に広めるため、普通の人たちが取り組んでいる草の根の“平和運動”です。一人ひとりの日々の活動が地域から世界へ広がることが民間ユネスコ運動の強さであります。

私たちは、ボランティア精神で組織運動しております。この機会に“あなた”も入会登録を考えてみませんか？会員同士の親睦を図りながら、歴史ある鳥取ユネスコ協会の灯を守り、燃やし続けることにご賛同いただければ幸いです。最後になりましたが、日頃より皆様の鳥取ユネスコ協会へのご理解、ご支援に対し、厚く感謝申し上げます。

中国ブロック・ユネスコ活動研究会 in 石見銀山 平成28年12月10日(土)～11日(日)

鳥取県ユネスコ連絡協議会 会長 中 村 忠 文



2016年（平成28年）の中国ブロック・ユネスコ活動研究会は、石見銀山（2007年よりユネスコ世界遺産になっている）で行われました。

交通の便はあまり良くありませんので、参加会員も例年より少なかったです。

鳥取県からは、鳥取から会長島田様、米子からは会長岡本様（以下2～3名）、倉吉からの出席はありませんでした。私は県ユ連の会長ですので、出席いたしました。

さて！内容は？

- 1、開会式・・・大体普通どおりで挨拶の他、日ユのメッセージがありました。
- 2、講演・・・「石見銀山をどう引き継ぐか」ということで、太田市教育長 大國晴雄様のお話があり「世界遺産登録に立ちはだかった大きな壁・・・とは？」というお話でした。
- 3、カンボジアスタディーツアー体験記・・・で、山口高水高校 永富由依さん、岡山ノートルダム清心女子高校 兼田紗綺さんの二人が報告されました。
- 4、中国地区 ESD 推進団体表彰・・・では広島、岡山、島根、津山の4校が受けられました。（鳥取は無いですネ）

- 5、ユネスコ無形文化遺産石州半紙・・・のことを、いろいろとお話しされました。
- 6、懇親会となり、殆ど全員が参加されましたが、米子ユの方はお帰りになり、残念でした。

さて翌日は・・・実はホテルが無く、温泉津温泉の各旅館に宿泊となっており、朝はその温泉地のカフェで！

- 7、中国ブロック連絡協議会が行われ、各県ユ協会長の参加で、次年度の研究会の予定が協議され、次の通り決まりました！

2017年の中国ブロックユネスコ研究会は、山口県で11月18日（土）～19日（日）に行うことが決定されました。

なるべく多くの方の参加を希望します。

- 8、日本ユネスコ国内委員会 報告（国内委員会は、文部科学省の公的な機関です）

ユネスコとは、創設等、本部、地域事務所、加盟国数、事務局長、財政、通常予算などの報告でした。

- 9、実務セミナー これが一番の問題で、日ユから2人、各県からもそれぞれのお話があり、皆で討議したわけです。主な事項は

- (1) 世界遺産を後代まで引継ぐには？

文化遺産は住民のものだ、ユネスコは消滅しないように支援しよう。

(2) ユネスコ協会の衰弱をどうしたら？

各県が色々意見を述べられました。ここで鳥取県の考えを、皆様にもお話ししたいと思います。

イ、会員、資金をもっと増やしたい

ロ、鳥取の会員は真面目であるが？

ハ、ユネスコというものを知らない人が多いので、もっとPRを！

ニ、日ユももっとPRすべきだ！

この意見に対して、日ユも、同感です。もっと頑張らねばと思います！との答え～意見でした。

10、閉会式（いつもの通り）

11、スタディーツアーは石見銀山の解説を聞きながらの見学でした。



本当にざっとした報告になりましたが、紙面の問題もあり・・・また何時か詳しいお話を！とも思っています。

第10回(最終回)環境談話会開催

平成28年2月18日(木)午後1:30より、さざんか会館2階、アクティブとっとり研修室において、残念ながら諸般の事由で今回が最後の開催となってしまった第10回環境談話会が開催されました。

講師に鳥取大学農学部生活資源環境学科准教授の藤本高明先生をお招きして「木材の利用と住まいの環境との関わり～木を使うメリット・デメリット～」のテーマでお話をいただきました。

一般22名、会員9名、事務局1名、計32名の参加を得ることができました。講演に先立って、田中勢一郎会長より、鳥取ユネスコ協会は事業活動の一つとして、環境保全を行っており、この談話会はその一部として開催している。環境破壊で地球温暖化も進み、災害も発生しやすくなっているように思う。今日の談話会が理解の一助になればと考えるという挨拶がありました。

講演内容は木材と住まいの環境として、木材の温度調節機能、湿度調節機能、視覚的特性、木造の住心地と健康、そして木材の有効利用として、木材利用の意義、近年の木材利用方法について話をされました。

木材が他の建材に比べて優っている点、そして各種木材についても特徴があり適不適があること、湿度を適正に保つことにより、インフルエンザの予防にも役立ち、近年では海外でも大規模建築に木材が使われるようになってきていること、そして2020年の東京オリンピック新国立競技場も木造であり、長らく利用度の落ちてきている木材が見直されてきていることについて解説されました。

日本の木材がこれから多く利用され、環境保全に役立つことが期待されるお話でありました。



平成28年9月25日(日)鳥取砂丘美化運動協議会主催の砂丘一斉清掃に協力参加しました。

当日は午前9時15分より開会式が開催され、深澤鳥取市長よりこの事業は昭和55年より春秋年2回開催され、今回で73回目となります。本日は81団体3799名の皆さんと、当日の一般参加も併せて総勢およそ4000名の方々にご協力いただきます。これからも美しい砂丘を受け継いでゆきたいと思います。との挨拶があった。

雨が降って涼しい日が1週間ほど続いていましたが、当日はカンカン照りの夏のような天候で、ユネスコメンバーも汗をかいて頑張りました。高齢になったユネスコメンバーには少々つらいイベントであります。

参加者：中村忠文、田中勢一郎、山岡弘道、中村茂幸



2016年度 鳥取ユネスコ協会講演会 吉田茅穂子

2016年10月22日(土)午後2時より、さざんか会館、アクティブ鳥取会議室に於いて「今、子供たちが危ない!」という題で鳥取県福祉相談センター所長の花川治応様に講演を頂いた。

まず昔の子供達は屋外の自然の中でのびのびと遊んでいたが、今は遊ぶ場所が無い。そして色々な事を我慢していたが今は物があふれ、我慢することが難しくなっている。

そして現代は夜中起きていてネット、ゲーム等で友達とつながっており、昼間寝るという習慣になり、その悪循環から中々抜けられない。

また、家庭内では親は子供にプラスの褒め言葉は言わずにマイナス面を言ってしまう。子供たちは親の言動をよく見ていて、その真似をするので大切な言葉を伝えなければいけない。

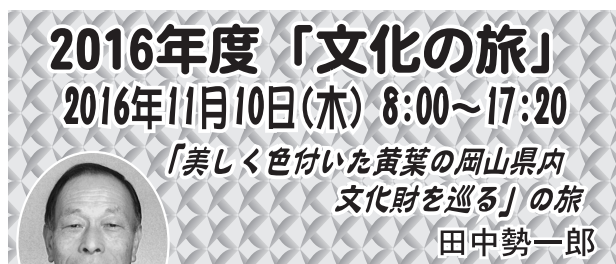
そこで親にとって大切なことは、まず子供達に自信を持たせること。次に家庭の役に立っていることを自覚させること。そして、「あなたがいて良かった!!」と、少しの言葉でも褒めてあげること、と提言された。

相談所から見える景色は子育てしにくい社会になっている。児童虐待が増え、まずは発生予防、次に早期発見、早期対応、そして子供と保護者への対応が大切と話された。

子供とは感情的にならず穏やかな感情のやり取りをすること、子供に感謝の気持ちを持たせることが大切だということを述べられた。

「子供は未来の宝であり子育てをしている人に次世代を育てる誇りと、苦勞を乗り越える勇気を持ってもらうための手伝いを!!」と、しめくられた。

一人でも多くの子供達が幸せな人生を歩んでほしいと心から願っている。



2016年度「文化の旅」 2016年11月10日(木) 8:00~17:20 「美しく色付いた黄葉の岡山県内 文化財を巡る」の旅 田中勢一郎

本年度の「文化の旅」は岡山県内にある特別史跡「旧閑谷学校」と「吉備津彦神社」そして「備中国分寺」でした。当日は天候にも恵まれまして21名の参加者を乗せた貸し切りバスで鳥取駅南口を出発して、国道373号線を一路、南へと2時間余り進み目的地に到着しました。

備前市内にある「旧閑谷学校」に集合して、担当ガイドさんに広大な面積がある校内を案内していただいた。国宝に指定されている「講堂」は1670年(寛文10年)岡山藩主によって創建された。堅固で壮麗な建物、「閑谷神社」や「孔子廟」なども巡り、ガイドさんの興味深い説明も聞きました。



そして「孔子廟」の前にある大樹木「楷の木」は美しく黄葉となり色付いておりました。

これらの建物や石屏は、堅固で火災や風雨から守り長持ちさせるための工夫がされており、永年存続への強い願いが現れていました。

昼食は、岡山市内にある「エビス水産高屋」でおいしく頂きました。

午後は「吉備津彦神社」と「備中国分寺」を見学しました。

「吉備津彦神社」は備中の国一の宮、神社の本殿は、国宝に指定されています。宮司さんにこの神社の概要をお聞きし、この神社は1425年(応永32年)創建され、建物は入母屋の屋根を二つ並べてⅡ型に結び、一つの屋根として構成している「此翼入母屋造り」で特殊な建物形式として知られています。

その後、総社市内にある「備中国分寺」を見学しました。田園風景の中にある五重塔は、吉備路のシンボリックな存在で国の重要文化財に指定されています。

皆さん終日、楽しく有意義な文化の旅を過ごしました。

ユネスコ 鳥取ユネスコ協会

会員大募集中

ユネスコって何ぞ?
ユネスコ(UNESCO)はいろいろな国の人と、教育(Educational)、科学(Scientific)、文化(Cultural)、の協力と交流を通じ、国際平和と福祉を促進することを目的とした国際機関です。

鳥取ユネスコ協会の活動は?
鳥取ユネスコ協会は、国際交流をはかることで、世界平和が目的のユネスコに協力するボランティア団体で、そのための活動を行っています。

基金活動(アクション)
集まった寄付は世界平和運動という世界の教育を受けられない子供たちのために学校を建てるために使われます。バザーや書き置き会を兼ねるキャンペーンも行います。

文化講演会
多くの方々や会員の見聞を広めるため、様々なテーマで講師をお呼びし、お話を聞きます。

こども英語教室
小学生を対象に毎週から2段階で英語に親しんでいただく教室を設けています。

砂丘一歩清掃
鳥取市の事業として年に2回、協力、参加しています。

中国がユネスコ世界遺産大会参加
中国地方のユネスコ世界遺産大会に参加、各地の事業を支援したり、当地の事業報告会をしたり、また、鳥取県が主催者になって開催することもあります。

多くの皆様のご入会をお待ちしています。
〒680-0841 鳥取市東山3丁目79-1
鳥取市文化センター内 Tel.0857-24-5009
メールアドレス: tottori@unesco.or.jp
ホームページ: <http://www.unesco.or.jp/tottori/>

ご入会はメール、faxでご連絡ください。
事業活動のために会費を頂いております。
正会員: 年費 6,000円
賛助会員: 年費 1,000円
法人会員: 年費 10,000円
その他、随時寄付は随時受け付けます。

鳥取ユネスコ協会 会員募集 パンフレット完成

鳥取ユネスコ協会会員募集パンフレットが、井上法雄さんの尽力により出来上がり、配布されています。

多くの人の目に触れて、少しでも会員が増えてほしいものです。



鳥取ユネスコでは世界寺子屋運動（世界識字教育運動）に賛同し、毎年街頭募金を行ってまいりました。

今年もこの行事を計画しておりましたが、4月に震度7の熊本地震が起こり甚大なる被害が出たことを受け、私達はいち早く世界寺子屋募金を熊本地震の募金に切り替えました。

「民間ユネスコ運動の日」と定められた7月19日にちなみ、コーアクション実施日を7月14日に設定しました。この日は天候にも恵まれ午後4時から、ユネスコ会員10名、協力校の鹿野中学校5名、国府東小学校5名、大正小学校3名、末恒小学校4名、引率の先生方5名、総勢32名が鳥取駅周辺4か所に分かれて募金活動を行いました。いつものように子供たちの元気な呼びかけに足を止めて下さる方も多く、その様子は日本海新聞や当日のNHKのニュースに流れました。多くの皆様にご協力頂き、盛会裡に終えることが出来ましたことを厚く感謝申し上げます。

尚、皆様の心温まる募金は日本ユネスコ協会を通じて「熊本地震子ども支援募金」として贈られます。



講師／日本人女性講師

期間／2017年4月～2018年3月まで

毎週月曜日

クラス構成／小学生のみ

【初級クラス】16:30～17:10 【15名】

【上級クラス】17:15～18:00 【15名】

口場 所：鳥取市文化センター2階 第一会議室
鳥取市吉方温泉三丁目701

口受講料：月額3,000円

（年間教材費として別途3,000円必要）

※6か月分まとめて全納

口申し込み先：鳥取ユネスコ協会事務局

〒680-0841

鳥取市吉方温泉三丁目701

鳥取市文化センター内

電話・Fax 0857-24-5009

Mail: tottori@unesco.or.io

お申し込みは

電話・Fax・メール

いずれでも可能です。



あなたの「タンス遺産」を
ユネスコ世界寺子屋運動へ。

11枚の書きそんじハガキで
ひとりがひと月学校に。



書きそんじハガキ



未使用の切手やプリペイドカードも受付中



©Dentsu

鳥取ユネスコ協会の活動に暖かいご支援ありがとうございます

2016年度賛助法人

医療法人 明穂整形外科 鳥取市扇町11-3 37-1313	(株) 清 水 鳥取市古海542-1 23-1631	ダイヤモンド電機(株) 鳥取市南栄町18 53-1121
鳥取医療器(株) 鳥取市西品治815-8 23-1741	鳥取県信用農業協同組合連合会 鳥取市末広温泉町723 21-2800	鳥取県東部歯科医師会 鳥取市富安2-84 23-3179
鳥取信用金庫 鳥取市栄町645 23-2411	鳥取ワシントンホテルプラザ 鳥取市東品治102 27-8111	内藤製館所(株) 鳥取市行徳2-112-2 23-5251
中村歯科医院 鳥取市扇町34-1 27-4698	鳥取県農業協同組合中央会 鳥取市末広温泉町723 21-2600	水野商事(株) 鳥取市吉方町2-451 26-5551
山陰酸素工業(株) 鳥取市叶108-1 53-2021		

あとがき

事務職員の菅原さんが辞められて、今回編集委員だけでなんとか発行にこぎつけることができました。以前はほとんどの部分で菅原さんにお世話になっており、大変さを痛感した次第です。会報発行を続けられるように、会員皆様のご協力をお願いいたします。

編集委員 中村茂幸

鳥取ユネスコ協会会報 Vol.56

平成29年3月31日発行

編集・発行 鳥取ユネスコ協会
〒680-0841
鳥取市吉方温泉3丁目701
鳥取市文化センター内
電話 (0857) 24-5009
印刷 (有)ウエタ印刷
〒680-0007
鳥取市湯所町2丁目521
電話 (0857) 23-0688

鳥取ユネスコ協会のホームページでは、各法人のURLもご紹介しています。